

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和1年11月28日(2019.11.28)

【公開番号】特開2019-112445(P2019-112445A)

【公開日】令和1年7月11日(2019.7.11)

【年通号数】公開・登録公報2019-027

【出願番号】特願2019-47201(P2019-47201)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

C 1 2 N 5/0783 (2010.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

C 0 7 K 16/30 (2006.01)

C 0 7 K 16/46 (2006.01)

C 1 2 N 15/13 (2006.01)

C 1 2 N 15/62 (2006.01)

C 0 7 K 14/725 (2006.01)

C 0 7 K 14/705 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 39/395 Z N A N

A 6 1 K 39/395 U

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/02

C 1 2 N 5/0783

C 0 7 K 16/28

C 0 7 K 16/30

C 0 7 K 16/46

C 1 2 N 15/13

C 1 2 N 15/62

C 0 7 K 14/725

C 0 7 K 14/705

【手続補正書】

【提出日】令和1年10月16日(2019.10.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

CEACAM1に結合するTIM3のタンパク質模倣体であるペプチドであって、
該ペプチドが、配列Cys-Pro-Val-Phe-Glu-Cys-Gly-Asn-Val-Val-Leu-Arg-Thr-Asp-Glu-Arg-Asp-Val-Asn-Tyrからなるか、または配列Cys-Pro-Val-Phe-Glu-Ser-Gly-Ser-Gly-Arg-Ile-Gln-Glu-Pro-Gly-Ile-Metを含み、

該ペプチドが、CEACAM1に結合し、かつTIM3およびCEACAM1の相互作用によって媒介されるシグナル伝達を阻害する、前記ペプチド。

【請求項2】

請求項1に記載のペプチドと

融合ポリペプチドのインピボでの安定性を増加させるか、その生物活性もしくは局在性を調節するか、または融合ポリペプチドの精製を容易にする、異種ポリペプチドを含む、融合ポリペプチド。

【請求項3】

請求項1に記載のペプチドとインピボで該ペプチドの半減期を増強するポリマーとを含む、結合体分子。

【請求項4】

前記融合ポリペプチドの異種ポリペプチドが、トランスフェリン、血清アルブミン、または免疫グロブリン定常領域(Fc)を含む、請求項2に記載の融合ポリペプチド。

【請求項5】

前記結合体分子のポリマーがPEGを含む、請求項3に記載の結合体分子。

【請求項6】

癌の治療に使用するための、請求項1に記載のペプチド、請求項2もしくは4に記載の融合ポリペプチド、または請求項3もしくは5に記載の結合体分子。